



**同盟青森県本部 第3回 理事会を開催**

「闘いと抵抗の歴史」を継承する活動を強めていくことを確認

三月二十六日(金)右記会議を開催。予定していた一月の理事会はコロナ禍などの影響もあり中止になり、昨年十一月以来四ヶ月ぶりの会議となりました。他行事の準備のため欠席となつた三八支部を除く五支部から十四名が出席。概要を報告します。



No. 562

編集発行人 田中幹夫  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
〒113-0034  
東京都文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター全労連会館内  
電話 03-5842-6461  
FAX 03-5842-6462  
振替 00110-6-97793  
定価 50円

(1) 報告事項

○西北支部が五所川原市議会に提出していた同盟請願が昨年末十二月十七日に本会議にて11:10で採択された件について西北支部一戸事務局長から報告されました。全国的には二〇一八年九月鳥取県八頭町議会の採択以来二年三ヶ月ぶりの出来事、中央はじめ県、支部、会員の大きな喜び、快挙となり、

(2) 討議事項

○会員拡大については伸び悩んでいる状況が続いている。各支部が掲げた二〇二〇年度目標をめざし進むことを確認。

○国会請願署名の到達は現時点で一三〇一筆。国会請願日が五月十二日に確定しているため最後まで全力を尽くすことを確認。

○次回の開催を五月二十一日(金)とし終了しました。

○東青支部主催の「種まぐ人びと」上映会、青森市男女共同参画フォーラムに参加しおこなつた「世帯主制度」学習会の取り組みについて報告されました。

○上十三支部は同盟運動にかかる記念日に街宣を行っている。今回は二月二十日(小林多喜二が虐殺された日)三月十五日にそれぞれ三名で十和田市、東北町、野辺地町にて実行。これで上十三地域二市五町をすべてクリア。

議会提出を検討。その他県議会を初め取り組みを検討していく。

青森県版  
2021年4月15日発行

第346号

〒030-0821  
青森市勝田二丁目7-3 山脇ビル  
TEL 017-721-9018  
FAX 017-721-9019  
青森県本部



息子（3匹飼つて）  
の同僚が、最近飼つた2  
匹目の子猫と先住猫との  
関係がうまくいかず一緒に  
飼うことが無理で、引き受け手を探していたと。  
以前から愛猫家の息子に  
親子猫（生後間もなく）達で、保護猫  
だつた。

（推定誕生日は九  
月二十五日）。  
我が家に来たときは  
は生後四か月で、

息子（3匹飼つて）  
の同僚が、最近飼つた2  
匹目の子猫と先住猫との  
関係がうまくいかず一緒に  
飼うことが無理で、引き受け手を探していたと。

工藤哲子さんは看護士として活動。

退職後は生健会、国賠同盟など幅広く活動しています。

## スカちゃん（スカーレット）との 出会いそして今

東青支部 工 藤 哲 子

▼会員による所属組織や個人の思いを語るページです▲

1・4キロ。両手に乗る位のサイズ。毛がふわふわ、愛くるしい目と人なつこさ。スカちゃんのマーキングされたゲージ等使っていた全てを頂いた。ワクチン接種や去勢手術もした。

スカちゃんとの生活は刺激的。猫が持つている個性や何が好きで嫌がるのか等、かつての仕事柄、観察癖がむくむく。ペットの成人病予防のため食生活への気配りやモーニングケアなども嫌がらず習慣となつた。驚くばかりのフエジカル能力、気まで自分（猫）本位で膝の上で丸くなつて安心しきつて居眠りする姿は何とも言えない愛くるしさだ。部屋のドアを閉められた時は「ここに

いるよ。開けて！」と甘えた声で知らせる。声も使い分けている。出窓から飽きもせず外を眺めている姿は恰好いい。ロツククライミングならずカーテンは穴だらけ。猫の写真家の岩合さんの「ふれあい猫歩き」や「ワールドライフ」そして「ダーワインがきた！」などの番組の映像にTVの前に座りついて、捕まえようと思いついて、画面にヒバ

味が膨らむ。飼つてから一年過ぎた（3キロ）。猫との共生は私に素敵なプレゼントを提供してくれている。

三月八日は、世界の女性と手をつなぎ、「平和・ジエンダー平等へ!!」のスローガンを掲げ、コロナ禍の世界と全国各地の集会に呼応して「国際女性デー青森県中央集会」が開かれました。みぞれ混じりの悪天候の中、青森駅前公園に集まつた三十名余の参加者は「女性労働者の六割が非正規労働」「つながり、声を上げよう、女性差別に黙らない」と書かれたプラカードを手に手に道行く市民にアピール。民放テレビ局二社が集会の様子を取材しました。

時おり寒さに震えながらも、一輪ずつ持つた春を呼ぶ、色彩やかなミモザやバラ、ガーベラなどが参加者を励ましてくれます。

コロナ禍の不安を取り除く國、自治体の抜本的な政策を強く求めながら、暮らし、職場、性差別に苦しむ女性は連帯していく。男性と共に声を上げていこう、ジエンダー平等、差別のない社会をめざしていこうと決意し合う集会となりました。

今年は思いもよらぬ病に襲われた。帶状疱疹だ。痛いとは聞いていたが、皮膚が熱くなり、皮膚が皮リピリする。どこかにストレスを感じていたの暮らし、職場、性差別に苦しむ女性は連帯していく。男性と共に声を上げていこう、ジエンダー平等、差別のない社会をめざしていこうと決意し合う集会となりました。

## 山毛桟

◇今年は思いもよらぬ病に襲われた。帶状疱疹だ。痛いとは聞いていたが、皮膚が痛いのか筋肉が痛いのかとにかく傷んだ。それが過ぎると猛烈にかゆくなり、皮膚がピリピリする。どこかにストレスを感じていたの暮らし、職場、性差別に苦しむ女性は連帯していく。男性と共に声を上げていこう、ジエンダー平等、差別のない社会をめざしていこうと決意し合う集会となりました。

今年は思いもよらぬ病に襲われた。帶状疱疹だ。痛いとは聞いていたが、皮膚が痛いのか筋肉が痛いのかとにかく傷んだ。それが過ぎると猛烈にかゆくなり、皮膚がピリピリする。どこかにストレスを感じていたの暮らし、職場、性差別に苦しむ女性は連帯していく。男性と共に声を上げていこう、ジエンダー平等、差別のない社会をめざしていこうと決意し合う集会となりました。

今年は思いもよらぬ病に襲われた。帶状疱疹だ。痛いとは聞いていたが、皮膚が痛いのか筋肉が痛いのかとにかく傷んだ。それが過ぎると猛烈にかゆくなり、皮膚がピリピリする。どこかにストレスを感じていたの暮らし、職場、性差別に苦しむ女性は連帯していく。男性と共に声を上げていこう、ジエンダー平等、差別のない社会をめざしていこうと決意し合う集会となりました。

(R)



## 私が出会った子どもたち…… ＝お母さんと一緒にいたい……＝

(29)

中 村 修

(元小学校教師)

四年生の佳恵ちゃんは、妹とお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんの五人暮らしだった。お父さんは、いない。担任でなかつた私は、佳恵ちゃんの声をほとんど耳にしたことになかった。週に五時間の授業と休み時間やその他の活動少々、佳恵ちゃんと共にする時間は、少なかつた。それでも、一緒の時は、いつの間にか私のそばで、何人

かの女友達の陰に隠れるようにして寄り添つておる佳恵ちゃんの姿があつた。佳恵ちゃんの身ぶり、そぶりが気になつた私は、担任と協議の上、佳恵ちゃんのお母さんと会うこととした。佳恵ちゃんの成育歴を理解すれば、これらの何らかの手助けが見い出せるかもしれないと考えたからだ。



お母さんとの面会は、冒頭から驚きだつた。「あまり人のいない所でお話できませんか?」と、要望されたが、戸惑いなく、相談室のような個室空間がいいのかなと思ひきや、いわゆる密閉空間でない方がいいと言う。

お母さんの懸念は、自分の病状・症状が佳恵ちゃんにも影響して、同じような状態になつてしまふのではないかということだった。一介の教師が容易に應えられる事ではなかつたが、「佳恵ちゃんが楽しいと感じられる毎日を過ごせるようにしてみましょう」と約束してしまつた。

このことを担任に伝え、佳

ながら山道を散策する佳恵ちゃんがいた。山のベンチで転げまわつて笑いこける佳恵ちゃんがいた。今でも、四人で撮つたプリクラの中で軽く微笑んでいる佳恵ちゃんがいる。その後も学校での佳恵ちゃんにほんの少しだけ変化が生じた。

後に、祖父と祖母が揃つて学校を訪れ、喜びを伝えてくれたが、お母さんの姿はなかつた。

破天荒ではあつたが、あまり馴染みのない屋上へ案内した「いい」がいい」とのことだ。前代未聞の『屋上面談』が行われた。

そのような場所を選んだ訳が分かつた。初対面の私におむね次のような重いお話をしてくれたからだ。「自分は、うつ病を患つてゐる。仕事もままならない。近く、治療のために精神科病院へ入院することになっている。入院後、父、母に子ども達のお世話をお願ひすることになる。……」入院後の子どもを想う母のねがいを聞き取ることで精一杯だつた。

お母さんの懸念は、自分の病状・症状が佳恵ちゃんにも影響して、同じような状態になつてしまふのではないかということだった。一介の教師が容易に應えられる事ではなかつたが、「佳恵ちゃんが楽しいと感じられる毎日を過ごせるようにしてみましょう」と約束してしまつた。

このことを担任に伝え、佳